

01

産官学協同研究センターの活動報告

産官学協同プロジェクトの成果事例 2022~2018

Activity report of Industry-Government-University Collaborative Design Center

Successful Examples of Industry-Government-University Collaborative Projects 2022-2018

産官学協同研究センター長・デザイン学科長・教授
Industry-Government-University Collaborative Design Center
Head of Design Center・Head of Design Department・Professor

富安 由紀子 Yukiko TOMIYASU

産官学協同研究センター 専門職員・プロデューサー
Industry-Government-University Collaborative Design Center
Professional staff・Producer

皆川 優介 Yusuke MINAGAWA

要旨：名古屋学芸大学メディア造形学部における「産官学協同プロジェクト」は、2014年に本格始動した。企業や行政から提示される様々な課題に対して、連携先の担当者や教員、学生がプロジェクトチームを組み、ディスカッションを重ねて課題解決の方向性を構築する。

産官学協同研究センターの活動は、本学の建学の精神である、「実学」と「人間教育」に基づくプロジェクト・ベースド・ラーニングの実施である。

2022~2018年度における成果事例をピックアップ形式で報告する。

キーワード：産官学協同/Industry, Government and University Collaboration
産官学協同/Industry-University Collaboration
官学協同/Government-University Collaboration
地域連携/Regional Cooperation

はじめに

本学の「産官学協同プロジェクト」は2014年に本格始動した。企業や行政から提示される様々な課題に対して、連携先の担当者や教員、学生がプロジェクトチームを組み、ディスカッションを繰り返して課題解決の方向性を構築する。示された課題の周辺や背景を調査、分析し、問題の本質を再定義した上で具体的な解決案を可視化してきた。

外部との連携プロジェクトには企業と行政の両方があり、構成員として連携先、教員、学生の三者が協力することから、「産官学協同」と称する。プロジェクトに参加した学生は、企業や行政の活動を理解し、学修している専門技能と実社会の関連を体感する。その結果、実践的な技術の向上に向けて意欲が高まり、社会と積極的に関わる姿勢を習得する。

産官学協同研究センターの活動は、本学の建学の精神である「実学」と「人間教育」に基づくプロジェクト・ベースド・ラーニングの実施である。専門性のあり方を実社会と照らし更新することで、教員の教育方法の探求にもつながっている。

1 産官学協同研究センター活動年表

産官学協同研究センターの活動として、2022~2018年度における成果事例をピックアップ形式で報告する(表1)。

- 2022年 12月~中部デザイン団体協議会 産官学連携デザイン展(国際デザインセンター)
- 12月~ドリーム産官学協同開発商品「MiMi hipper ミミヒッパー」新発売
- 11月~プライムツリー赤池 イルミネーション「ヒカルミノル」点灯開始
- 7月~ニスト学習 産官学協同 交通広告制作
- 6月~愛知県(健康対策課) 官学協同 歯科衛生士応援ガイド制作
- 4月~JR 東海(東海旅客鉄道株式会社) 産官学協同【継続3回目】特集ページ制作
- 4月~プライムツリー赤池 産官学協同【継続6回目】イルミネーション制作
- 4月~ドリーム 産官学協同【継続5回目】新商品企画
- 2021年 12月~プライムツリー赤池 体験型展示イベント「ワハハうんどうかい」開催
- 10月~ISO コーポレーション パッケージ制作
- 7月~日進市(生涯学習課) 官学協同「日進市少女発明クラブ」ロゴ制作
- 7月~レゴランド・ジャパン 産官学協同【継続3回目】企画提案 新サービス企画
- 5月~名古屋市中川区役所(区政部 地域力推進室) 官学協同 企画提案
- 4月~JR 東海(東海旅客鉄道株式会社) 産官学協同【継続2回目】特集ページ制作
- 4月~プライムツリー赤池 産官学協同【継続5回目】体験型展示イベント
- 4月~ドリーム 産官学協同【継続4回目】新商品企画
- 2020年 12月~プライムツリー赤池 体験型展示イベント「いこうぜ!そらべる」開催
- 11月~レゴランド産官学協同開発商品「HAPPY LEGOLAND BOX」新発売
- 9月~中日文化センター(中日新聞社) 産官学協同 企画提案
- 9月~レゴランド・ジャパン 産官学協同【継続2回目】新サービス企画
- 8月~長久手温泉・長久手市 産官学協同「なかくてハッピー体操」動画制作
- 7月~JR 東海(東海旅客鉄道株式会社) 産官学協同 いいもの探訪特集ページ制作
- 6月~プライムツリー赤池 産官学協同【継続4回目】体験型展示イベント
- 6月~ドリーム 産官学協同【継続3回目】新商品企画
- 5月~日進市(生涯学習課) 官学協同「にっしん音結祭」ネーミング・ロゴ制作
- 2019年 12月~プライムツリー赤池 体験型展示イベント「ミルミルミエール」開催
- 10月~日進市 官学協同「築二五〇年 旧市川家物語」開催
- 5月~日進市(生涯学習課) 官学協同「旧市川家住宅」体験型展示イベント
- 4月~尾張旭市(企画課) 官学協同 子育てPR動画制作
- 4月~レゴランド・ジャパン 産官学協同 新商品開発
- 4月~プライムツリー赤池 産官学協同【継続3回目】体験型展示イベント
- 4月~ドリーム 産官学協同【継続2回目】新商品企画
- 2月~産官学協同展開催(名古屋青少年文化センター)
- 2018年 12月~プライムツリー赤池 体験型展示イベント「きになるき」開催
- 10月~5ツ橋製菓 産官学協同 新商品開発
- 10月~花万向 産官学協同 新商品開発
- 6月~プライムツリー赤池 産官学協同【継続2回目】体験型展示イベント
- 6月~ドリーム 産官学協同 新商品企画
- 4月~尾張旭市(企画課) 官学協同 定住促進PRポスター制作
- 4月~産官学協同プロジェクトが授業化(デザイン学科集中講義)
(授業として扱う案件について単位取得を可能にした)

表1/産官学協同研究センター活動年表(2022~2018年度)

2 産学協同プロジェクト

2.1 株式会社ドリームとの産学協同プロジェクト

株式会社ドリームとの新商品企画・開発プロジェクト [2022年度担当教職員：デザイン学科 黄ロビン教授+富安由紀子教授・センター長、2021～2018年度：黄ロビン教授+梶田渉教授・初代センター長+皆川優介専門職員]。2018年度より連携継続。デザイン学科3年生7～10名が取り組んでいる(写真1)。2020年度に企画提案が採用された「忙しい朝の身支度をしながら、耳に装着して引っ張ることで耳まわりの筋肉を刺激し、顔のストレッチと耳もリフレッシュできる美容グッズ『リフトカチューシャ ミミヒッパー』(写真2)」が2022年度にかけて開発され、12月8日より発売開始となった。



写真1/プロジェクトの様子(2022年度)



写真2/「リフトカチューシャ ミミヒッパー」

2.2 プライムツリー赤池との産学協同プロジェクト

日進市赤池町の大型ショッピングモール「プライムツリー赤池」との産学協同プロジェクト[担当教職員：デザイン学科 尹成済准教授+皆川優介専門職員]。ランドオープンの2017年度より連携継続。デザイン学科3年生8名が取り組んでいる。2022年度は、イルミネーション『ヒカルミノル』の企画、デザイン、制作、運営を実施。コンセプトは、「プライムツリー赤池を訪れたお客様が感じた幸せをエネルギー源として育つツリーを中心に、日進市赤池の街に『光』が実っている」(写真3)。ワークショップ「ヒカルミノル～自分だけの家の計画書を作ろう～」で子どもたちが紙面上に計画した家は、学生が実物を組み立て、飾り付けを行った(写真4)。

る」(写真3)。ワークショップ「ヒカルミノル～自分だけの家の計画書を作ろう～」で子どもたちが紙面上に計画した家は、学生が実物を組み立て、飾り付けを行った(写真4)。



写真3/「ヒカルミノル」点灯式11月5日～2023年2月28日まで設置



写真4/ワークショップ「ヒカルミノル～自分だけの家の計画書を作ろう～」(11月3日)

2021～2017年度の産学協同プロジェクトでは、地元地域のコミュニティを活性化するために、「体験型展示イベント」を開催。担当教員と学生メンバーにて、毎回1つのテーマを定め、子どもから大人まで楽しく遊びながら学ぶことができる体験型展示イベントの企画、デザイン制作、広報、イベントの運営を実施した。

2021年度『ワハハうんどうかい』のテーマは「笑顔」として、コロナ禍において、まだまだ制限のある生活が続いている中で、世の中から笑顔が失われつつあるのではと考え、この地域から明るい笑いを発信できるように運動会をモチーフにイベントをデザインした(写真5)。2020年度『いこうぜ！そらべる』のテーマは「空」として、コロナ禍が始まり、旅行の制限がある中で人々の気持ちを前向きするため、架空の「そらの国」観光を体験しながら、空の天気や四季の不思議について楽しく学べるイベントをデザインした(写真6)。2019年度『ミルミルミエール』のテーマは「食」として、食を見える化し、暮らしの質を高めるデザインの意味を子どもから大人まで五感を使って遊びながら学べるイベントをデザインした(写真7)。

2018年度『きになるき』のテーマは「樹木」として、1本の木から学べること、木の魅力と自然環境の大切さを学べるイベントをデザインした(写真8)。2017年度『参太祭(さんたまつり)』のテーマは「和のクリスマス」として、「和となるワッ！となるクリスマス」のコンセプトのもと、西洋の文化であるクリスマスと和の祭りイベントとしてデザインした(写真9)。初年度にワークショップや、イルミネーション展示など、12月の土、日曜日の6日間開催した実績は、その後の4年度継続開催となる体験型展示イベントの大いなる基盤となった。



写真6/「いこうぜ！そらべる」[2020年12月12日・13日/参加者数:1,734名(2日間総計)]



写真5/「ワハハうんどうかい」[2021年12月4日・5日/参加者数:2,134名(2日間総計)]



写真7/「ミルミルミエール」[2019年11月30日・12月1日/参加者数:約4,000名(2日間総計)]



写真8 / 「きになるき」[2018年12月15日・16日 / 参加者数: 11,259名(2日間総計)]



写真9 / 「参太祭(さんたまつり)」[2017年12月9日～25日 / 参加者数: 17,883名(6日間総計)]

2.3 JR東海との産学協同プロジェクト

JR東海(東海旅客鉄道株式会社)との、JR東海沿線の「いいもの」お取り寄せWebサイト『いいもの探訪』における「ものと生産者の魅力を伝える特集ページ」制作プロジェクト[2022～2021年度担当教職員: デザイン学科 尹成済准教授+柴田知司准教授+映像メディア学科 柿沼岳志講師+皆川優介専門職員 / 2020年度: デザイン学科 梶田渉教授・初代センター長+尹成済准教授+皆川優介専門職員]。2020年度より連携継続。デザイン学科3年生6～8名が2チームで取り組んだ。2022度は、新たに「動画素材を活用した特集ページ」制作に取り組むため映像メディア学科(柿沼ゼミ・4年生7名)と連携。生産者は、岐阜県鵜飼屋地区に伝承される「鮎鮎(鮎のなれずし)」を製造・販売する「結の舟(ゆいのふね)」(図1)(写真10)、豊橋市の「長坂養鰻場三河一色産鰻蒲焼」を製造・販売する「株式会社カネナカ」(図2)(写真11)。

2021年度の生産者は、豊橋産のうずら卵を使用した「うずらプリン」(図3)(写真12)を製造・販売する「菓匠華月」と、伝統的工芸品「駿河竹千筋細工」(図4)(写真13)を製造・販売する「みやび行燈製作所(静岡竹工芸協同組合)」、2020年度の生産者は、飛騨高山の江戸時代から続く伝統工芸の焼き物「洪草焼」(図5)(写真14)の「芳国舎洪草製陶所」と、同じく高山の「味噌醸造元」(図6)(写真15)である「糶屋柴田春次商店」について、それぞれ現地にて取材を行い、商品の撮影や、Webページの編集デザインを行った。



図1 / 「鮎鮎(鮎のなれずし)」特集ページ(抜粋)



写真10 / 生産者取材・特集ページ制作



図2/「長坂養鯉場 三河一色産鯉 蒲焼」特集ページ(抜粋)



図4/「駿河竹千筋細工」特集ページ(抜粋)



写真11/商品撮影・特集ページ制作



写真13/生産者取材・商品撮影



図3/「うずらプリン」特集ページ(抜粋)



図5/「洗草焼」特集ページ(抜粋)



写真12/生産者取材・商品撮影

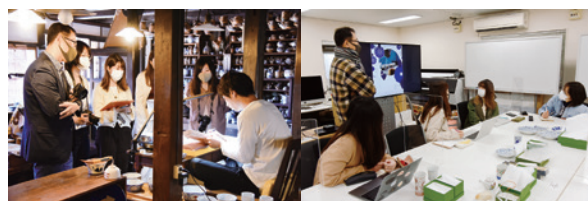


写真14/生産者取材・特集ページ制作



図6 / 「味噌醸造元」特集ページ(抜粋)



写真15 / 生産者取材・特集ページ制作

2.4 ニスト学習塾との産学協同プロジェクト

2022年度に実施した、完全個別1対1の指導を最も大事にしていくことをモットーとしている、「ニスト学習塾」との愛知環状鉄道に掲示する「交通広告」制作プロジェクト[担当教職員:デザイン学科 富安由紀子教授・センター長+皆川優介専門職員]。プロジェクトは、コンペティション形式にて募集し、メディア造形学部の学生7名が取り組んだ。選定された2名の交通広告作品は、2022年11月15日より1年間の期間にて、車両2編成に掲示(外装ドア横/B2サイズ:12枚)された(写真16)(図7)。



写真16 / 愛知環状鉄道「交通広告」掲示車両



図7 / 「ニスト学習塾」交通広告2種類(抜粋)

2.5 レゴランド®・ジャパンとの産学協同プロジェクト

レゴランド®・ジャパン合同会社との新商品開発・販促企画デザイン提案プロジェクト[2021~2020年度担当教職員:デザイン学科 梶田渉教授・初代センター長/2019年度:デザイン学科 梶田渉教授+尹成濟准教授+皆川優介専門職員]。2021~2019年度に継続して連携。デザイン学科3年生4~7名が取り組んだ。2019年度の提案の中から、レゴ®ブロックを使った遊びのゲームができる知育菓子「HAPPY LEGOLAND® BOX」が採用され、2020年11月14日からレゴランド®・ジャパン内にあるビッグ・ショップ(写真17)や、レゴランド®・ジャパン・ホテルで発売された。



写真17 / 「HAPPY LEGOLAND BOX」販売初日

3 官学協同プロジェクト

3.1 愛知県(健康対策課)との官学協同プロジェクト

2022年度の愛知県(健康対策課)との官学協同プロジェクト[担当教職員:デザイン学科 富安由紀子教授・センター長+皆川優介専門職員]。愛知県歯科医師会・愛知県歯科衛生士会と連携して実施した。デザイン学科3年生3名が取り組んだ。歯科衛生士はそのほとんどが女性のため、出産や育児などライフイベントにより、キャリアを積む前に退職・離職してしまうのが現状。スキルがあれば年齢に関係なく、現場復帰できるのも国家資格である歯科衛生士の魅力の1つである。若い歯科衛生士がどのようなキャリアを積み、仕事とプライベートを両立し、長くやりがいを持って働けるのを知るツールとして、歯科衛生士応援ガイド「キャリアアップアイランド」を制作した。本冊子では、先輩歯科衛生士がどのようにキャリアを形成し、専門資格を取得してきたのかをリアルに知れるように、ロールモデルとして紹介している(写真18)(図8)。



写真18/プロジェクトの様子・ロールモデル取材

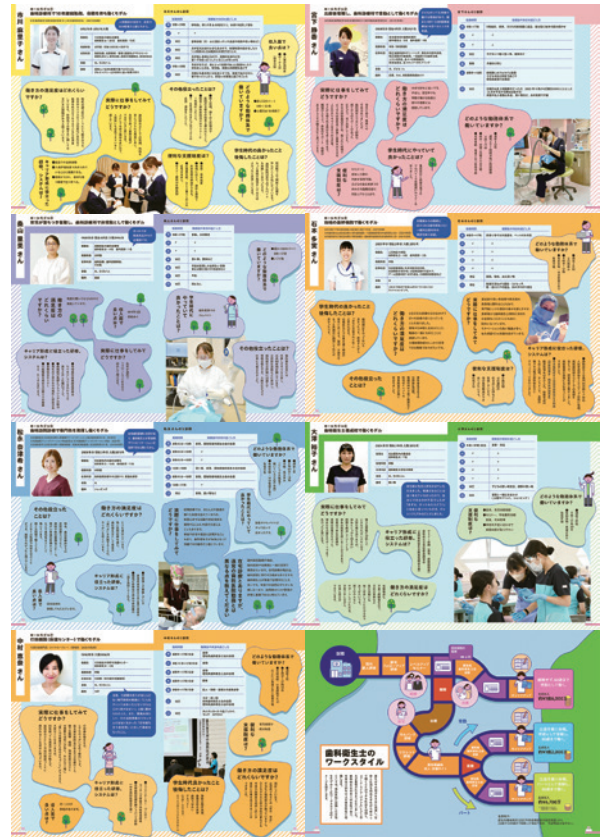


図8/歯科衛生士応援ガイド「キャリアアップアイランド」(A5版冊子・32ページ/抜粋)

3.2 尾張旭市(企画部企画課)との官学協同プロジェクト

尾張旭市(企画部企画課)との官学協同プロジェクト[担当教職員:デザイン学科 梶田渉教授・初代センター長+皆川優介専門職員]。デザイン学科3年生4名が取り組んだ。同市では、20代・30代の子育て世代をターゲットとし、定住・移住者の増加を図るための取り組みを行っている。しかしながら、同市は定住先として検討する魅力を持ち合わせているもののPRが少なく、広告アプローチが弱いのが課題であった。解決策として、市のイメージをあらためて発信し、効果的なPR方法として定住促進のポスターを企画制作とし、市の新しいキャッチコピー「すくすく のびのび 尾張旭市」を提案。ポスター6シーンについて企画表現案のプレゼンテーションを実施した。市民に愛されているイメージキャラクター「あさびー」を市民のひとりとして描いた。市内(谷口農園・保健福祉センター・愛知県森林公園・旭丘小学校)にて、市民の方々にキャストとしてご協力いただき、各シーンの撮影とデザイン制作を行った(図9)。ポスターは市内外に掲示され定住促進PRを推進した(写真19)。それ以外にも、フォトブック(図10)、メイキング動画、市職員の名刺をデザインした。

また、2020年度に市制施行50周年を迎えたことを記念したロゴマーク制作に取り組み、4案を市に提案した。市民投票で決定されたロゴマークは、記念事業で展開された(図11)。



図9／尾張旭市定住促進PRポスター（6種類）



図10／尾張旭市定住促進PRフォトブック（蛇腹型／サイズ：130×92mm）



図11/市政50周年記念ロゴマーク



写真19/プロジェクトの様子・定住促進PRポスター展開(大曽根駅・愛知県森林公園など)

3.3 日進市(生涯学習課)との官学協同プロジェクト

日進市(生涯学習課)との官学協同プロジェクト[2022年度担当教職員:デザイン学科 富安由紀子教授・センター長+皆川優介専門職員、2021~2014年度:デザイン学科 梶田涉教授・初代センター長+皆川優介専門職員]では、日進市全戸に配布されている「日進市生涯学習情報誌PLAN(秋号・冬号・春夏号)」表紙(図12)を制作(2007年度より継続)。デザイン学科3年生1名が年度を通して取り組んでいる。また、子どもたちに「ものづくり」体験を通して科学的・工業的分野に興味を持ってもらうことを目指して活動している「日進市少年少女発明クラブ」が2021年度に10周年を迎えることを記念して、ロゴマーク・ロゴタイプを制作(図13)。デザイン学科3年生1名が取り組んだ。発明とひらめきを表す「電球」と日進市

の頭文字の「N」をイメージしている。

2020年度に日進市が主催する新音楽祭のネーミングと、ロゴとマークをデザイン(図14)。デザイン学科3年生4名が取り組んだ。ネーミングは音楽を奏でる人、舞台を支える人、鑑賞する人のみんなで結う(まとまる・つながっていく)音楽祭という願いを込め、「にしん音結祭(おとゆいさい)」と決定し、広報ポスターとプログラムのデザインを制作した。



図12/日進市生涯学習情報誌「PLAN(秋号・冬号・春夏号)」(抜粋)



図13/「日進市少年少女発明クラブ」ロゴマーク・ロゴタイプ



図14/「にっしん音結祭」ロゴマーク・ロゴタイプ



写真20/「築二五〇年 旧市川家物語」イベントの様子

日進市は毎年度、野方町にある「旧市川家住宅(国登録有形文化財)」において、「小さな秋イベント」を実施している。2019年度には、築250年という記念する時期に本学と連携として、「築二五〇年 旧市川家物語」を10月26日に実施[担当教職員：デザイン学科 梶田渉教授・初代センター長+猪又康平助手+映像メディア学科 齋藤正和准教授(当時講師)+皆川優介専門職員]。デザイン学科3年生2名と映像メディア学科12名の学生の連携で企画制作から展示、運営まで行った。デザイン学科では、明治・大正・昭和の暮らしを振り返る「暮らしの諸相展」として、昔の生活道具の再現展示や、今と昔の学びを教科書で見比べる展示などを企画デザイン。主屋以外にも蔵では、葛飾北斎の北斎漫画の映像を制作し、江戸時代の暮らしの様子を映写した。映像メディア学科では「映像作品展示」として、主屋の障子にプロジェクションマッピングを行い、座敷や離れ、蔵でも映像投影や、作品上映を行い、屋外のライトアップを行った。暮らしの展示と最新メディアアート、市の協力団体の音楽ライブを同時に体験することで、世代を超えた新しい交流の場を創出し、もっと多くの人々が訪れる地域コミュニティの拠点にすることを目指した。両学科の協力で制作したポスターとフライヤーにて市民に広報し、イベント当日は、学生たちは特製のハッピを着て約350名にのぼるお客様をご案内した。近藤市長にもご高覧いただき、協力団体による音楽ライブも交えて、特別な一日のイベントとなった(写真20)(図15)(図16)。



図15/「築二五〇年 旧市川家物語」ポスター



図16/「築二五〇年 旧市川家物語」フライヤー

4 産官学協同展

4.1 Creative Collaboration デザイン系大学・専門学校の産学官連携デザイン展

設立30周年となる株式会社国際デザインセンター、中部デザイン団体協議会(CCDO)主催の「Creative Collaboration デザイン系大学・専門学校の産学官連携デザイン展(2022年12月14日～19日)」に出展。2022年度より過去5年間の産官学協同プロジェクトについてピックアップし、成果事例の展示を実施。タイミング良く、前述の株式会社ドリームとの産学協同プロジェクト開発商品「リフトカチューシャ ミミヒッパー」を展示することができた(写真21)。本学を含め10校の大学・専門学校が出展し、ギャラリートーク(14日)は、各校の担当教員、学生との交流の時間となった。



写真21/Creative Collaboration デザイン系大学・専門学校の産学官連携デザイン展

4.2 名古屋市青少年文化センター (アートピア)

名古屋市青少年文化センター(アートピア/ナディアパーク・デザインセンタービル7F 第1スタジオ)にて、2018年度より過去5年間の産官学協同プロジェクトの成果事例を展示する「産官学協同展(2019年2月28日～3月2日)」を実施。展示構成を考えるにあたり、2017年度に本学NUASギャラリーで実施した「産官学協同展」の内容をブラッシュアップし、会場の面積を最大限に活用するため、展示パネルを天井、壁面に吊り下げる方法とした。学外では初の展示の機会となり、多くの連携先の企業、行政のご担当者様にご来場いただいた。また、会場にて産官学協同研究センターの取り組みに興味を持ち、新たにプロジェクト実施のお申し出をいただくなど有意義な展示会となった(写真22)(写真23)(図17)。



写真22/産官学協同展



写真23/産官学協同展

5 おわりに

2016年度に「産官学協同研究センター」(写真24)を開設して以来、2022年度までに実施した案件は60件を超えた(表2)。これらは連携いただいた企業や行政の協力、担当教員のディレクションと学生指導、意欲を持って自主的に取り組んだ参加学生の成果が積み上がった数字である。

今後も産官学協同研究センターは、地域連携推進研究機構と協力して、学部間、学科間の連携を強化しながら、プロジェクトの実践を通して教育と研究の両輪を推進する。

- 2017年 12月~プライムツリー赤池 体験型展示イベント「参太祭」開催
- 12月~日進市(生涯学習課)官学協同 防犯啓発カルタ制作
- 9月~桂新堂 産学協同 新商品開発
- 7月~ふるさと県人会(愛知・岐阜・三重)【継続2回目】うちわデザイン
- 7月~日進市(保健センター)官学協同
- 6月~産官学協同展開催(NUAS ギャラリー)
- 6月~若月屋 産学協同 新商品開発
- 5月~プライムツリー赤池 産学協同 体験型展示イベント
- 4月~名古屋テレビ塔 産学協同 企画提案
- 2016年 12月~産官学協同研究センター稼働開始
- 12月~日比谷花壇 産学協同 店内プロジェクションマッピング制作
- 11月~服部 産学協同 企画提案
- 8月~日進市(保健センター)官学協同 ヘルビー健康だより制作
- 7月~ふるさと県人会(愛知・岐阜・三重)うちわデザイン制作
- 6月~日進市(保健センター)官学協同 ヘルビーウォーキングマップ制作
- 6月~バッファロー 産学協同 新商品開発
- 6月~近藤印刷 産学協同 新商品開発
- 5月~川ばた乃エクス 産学協同 新商品開発
- 4月~産官学協同研究センター開設
- 2015年 11月 名古屋商工会議所との連携、協力に関する協定を締結(~2020年11月)
- 11月~日進市(生活安全課)官学協同 防犯啓発クリアファイル制作
- 10月~DENSO わくわくの種展 グッドデザイン賞 受賞
- 10月~吉田建築 産学協同 新商品開発
- 10月~マウンテンコーヒー 産学協同 新商品開発
- 10月~トヨタ車体 産学協同【継続2回目】企画提案
- 8月~トヨタ車体 産学協同 創立70周年記念ポスター制作
- 5月~スリーエス 産学協同 企業ロゴ制作
- 5月~ナカモ 産学協同 新商品開発
- 5月~大阪シーリング印刷会社 産学協同 新商品開発
- 4月~エコバンク 産学協同【継続2回目】新商品開発
- 4月~駒平キウブ 産学協同 新商品開発
- 3月 FOODEX JAPAN 美食女子コンペティション
黒豆五郎【金賞】/ハニーコンフィ【銀賞】受賞
- 2月 DENSO「わくわくの種展」開催
- 2014年 9月~エコバンク 産学協同 新商品開発
- 8月~DENSO 産学協同 体験型展示イベント
- 2012年 継続~日進市(生涯学習課)官学協同「かすい」表紙制作
- 2007年 継続~日進市(生涯学習課)官学協同「PLAN(秋号・冬号・春夏号)」表紙制作

表2/産官学協同研究センター活動年表(2017~2014年度/2012年度/2007年度)

〈産官学協同研究センター／連絡先〉

TEL:0561-75-2166/FAX:0561-76-0221

E-Mail:sankangaku_ml★nuas.ac.jp(「★」を「@」(半角)に読み換えて下さい)



図17/「産官学協同展」フライヤー



写真24/産官学協同研究センター(外観)